

算数の学習について

1年生の算数の目標

数量や図形についての算数的活動を通して、基礎的な知識と技能を身に付け、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考える能力を育てるとともに、活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付き、進んで生活に生かそうとする態度を育てます。

1年間の学習内容

| | 学習する教材名 | おもな学習内容 |
|-------------|-----------------------------------|---|
| 一 学 期 | なかまづくりと かず | ・絵を見ながら、いろいろな観点や条件に応じて、数を用いてなかまづくりをします。 |
| | なんばんめ | ・順序や位置を数で表すことを学習します。 |
| | いくつといくつ | ・5は2と3, 1と4で5というように、1つの数をおはじきや算数ブロックを使って、いろいろな表し方でとらえられるようにします。 |
| | あわせて いくつ ふえると いくつ | ・算数ブロックなどを使って、たし算の意味を学習し答えが10以内のたし算ができるようにします。 |
| | のこりは いくつ ちがいは いくつ | ・算数ブロックなどを使って、ひき算の意味を学習しひかれる数が10以内のひき算の計算をします。 |
| | 10より おおきいかず | ・20までの数の数え方、読み方、書き方、数の構成などを学習し、身の回りのものを数えたりして、数の概念を身につけます。 |
| なんじ なんじはん | ・何時、何時半の時刻を読めるようにし日常生活に生かす学習をします。 | |
| 二 学 期 | どちらが ながい | ・長さを比べたり、身の回りのものではかったりします。また、身の回りのものの長さを、指やサインペンなどを単位として「いくつ分」で表すことを学習します。 |
| | 3つの かずの けいさん | ・3つの数のたし算やひき算ができるようにします。 例) $2 + 4 + 1 \cdot 9 - 3 - 4 \cdot 10 - 3 + 2$ |
| | どちらが おおい | ・かさの比較などを通して、かさの概念や測定について学習します。 |
| | たしざん | ・10のまとまりに着目しながら、一けたどうしのくり上がりのあるたし算を学習します。 |

| | | |
|-------------|--|---|
| | <p>かたちあそび</p> <p>ひきざん</p> <p>どちらが ひろい</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 空き箱や空き缶などを使って、いろいろなかたちを作ったりして、それぞれの仲間の似ているところを学習します。 • 10のまとまりに着目しながら、11～18から一けたの数をひく、繰り下がりひき算を学習します。 • 広さの比較などを通して、広さの概念や測定について学習します。 |
| 三 学 期 | <p>20より おおきいかず</p> <p>なんじなんぷん</p> <p>ずをつかって かんがえよう</p> <p>かたちづくり</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 100までの数の数え方、読み方、書き方を学習し、身の周りのものの数を数えることができるようにします。 • 時刻を5分刻みで読むことを学習します。 • いろいろな場面で加減計算ができることを知り、図をもとにして計算ができるようにします。 • 身の回りにある形について学習します。 |

家庭へのお願い

- 日常生活の中で、時計を見たり時間を意識させて行動するよう働きかけてください。また、ものを数えたり、足したり、引いたり比べたりする経験をたくさんさせてください。
- 算数は、家庭学習がとても大切です。くり返し学習することによって、力が確実にになります。返却されたプリント類は、目を通してください。基本的な知識が身についているか確認し励まして頂けると、子ども達も意欲的に学習できると思います。